

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月23日

計画の名称	高野山地区街なみ環境整備事業計画～歴史と文化を守り伝え、万人の心と体を癒す空間づくり～												
計画の期間	平成31年度～令和05年度(5年間)												
交付対象	高野町												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 開創から1200年の歴史と文化が息づく街なみ環境を向上させる。 歩いて周遊できる時間消費型、滞在型観光を推進するための地域づくり 豊かな自然、歴史、文化を守り活かす町づくり 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	91	A	91	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					平成31年	令和3年	令和5年
1	高野町を訪問する観光客数の増加を目指す。 観光客入込数を集計する。				1420千人/年	1450千人/年	1500千人/年
2	歴史的風致形成建造物の指定件数の増加を目指す。 歴史的風致形成建造物候補を調査し、指定した件数を集計する。				0件/年	1件/年	5件/年
3	町なみ整備事業修景や歴史的風致形成建造物の整備実績の増加を目指す。 町なみ整備事業修景や歴史的風致形成建造物の整備実績を集計する。				0件/年	2件/年	3件/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高野町（建設課）にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

高野町公式ホームページにおいて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

新型コロナウイルスの蔓延により目標値を達成することができなかったが、道路の美化化を行い街なみ環境の向上を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

次期計画（高野町街なみ環境整備事業計画（第2期））においても事業を継続して進めていく。

目標値の達成状況				
番号	指標（略称）			
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因		
1	1,500千人/年		美装化を行ったが新型コロナウイルス蔓延による影響により達成できなかった	
	最終目標値	1500千人/年		
	最終実績値	1395千人/年		
2	5件/年		指定件数の調査を検討していたが新型コロナウイルス蔓延による影響により達成できなかった	
	最終目標値	5件/年		
	最終実績値	0件/年		
3	3件/年		整備実績の増加を目指していたが新型コロナウイルス蔓延による影響により達成できなかった	
	最終目標値	3件/年		
	最終実績値	0件/年		